
メ～テレ 横井正彦社長定例記者会見

メ～テレ（名古屋テレビ放送）は3月24日に定例社長会見を開きました



メ～テレ代表取締役社長 横井正彦

会見の要旨は以下の通りです。

平素から皆さま方には格別のご支援をいただき、誠にありがとうございます。昨年6月に前任の荒木社長からバトンを引き継いでおよそ9ヵ月経ち、定例会見としては今回が初めてになります。どうぞよろしくお願いいたします。

まずは、視聴率からご報告させていただきます。2014年度の視聴率は、正式には今月末に確定しますが、現状では「全日」「ゴールデン」「プライム」が2位、「プライム2」が1位で推移しています。「全日」は3年連続の2位、「プライム2」は12年連続のトップとなる見込みです。

自社制作番組では、夕方のニュース情報番組の「UP！」が、年度を通じて同時間帯でトップを獲得する見込みです。ここまでの平均視聴率は10.2%で、2005年4月の番組開始

から10年で初めての快挙となりそうです。一方、朝の情報番組「ドデスカ！」は、10月からダンス中継「踊ろう！ウルフィーズ」をスタートさせました。この地域の放送局として、視聴者の皆様により身近な存在と感じていただけるよう、メ〜テレのアナウンサーが毎日各地を回り、朝から元気をお届けしています。また、来月からは番組のテーマ曲を、クリス・ハートさんのオリジナル曲「Brand New Day」に一新します。「ドデスカ！」のためにクリスさん自身も曲作りに参加いただいたとのことで、東海地方の皆さんに、素晴らしい歌声とともに朝を迎えていただきたいと思います。いまご紹介した朝夕のベルト番組については、今後も地域にこだわり、地域に積極的に関わる、その姿勢を変えることなく強化していきます。

続きまして、今期の決算見込みについて、ご説明させていただきます。今期の業績は「減収減益」を見込んでおります。収入面では、スポット収入は、消費税増税前のかげこみ需要の反動減もありましたが、通年では前年並みを確保できる見込みです。しかし、その他事業収入において、前期にあったサッカー国際親善試合の売上がなかったことなどが減収の要因です。一方の費用面では、全国放送の単発番組の制作や、次世代放送番組の制作などを行い、引き続きコンテンツの強化に努めております。以上の詳細につきましては、今期の決算が確定した後、6月上旬に経済記者クラブでご説明させていただく予定です。

現在メ〜テレでは、2013年度から3カ年にわたる第3次の中期経営計画が進行中です。第3次中計では、将来性のある番組やコンテンツへ積極的に先行投資することを基本姿勢にしました。4月からは計画のラストイヤーに入りますが、同時に次の中期経営計画につなぐ1年としても重視しています。次なる中計では、2020年の東京オリンピックに向けて、放送を取り巻く環境や技術が、4K・8Kといった高精細や、ハイブリッドキャストなど通信の融合へと大きく変化することを視野に入れ、これまでの3年周期から、さらに2年を加えた5年間で計画を立案すべきと考えています。具体的には、来期に入り次第、検討を始めます。また、2017年度にはメ〜テレは開局55周年を迎えます。今年は、メ〜テレにとって重要な5カ年に、いい形でつなげられるよう、足固めとなる1年にしたいと考えています。

続きまして、次世代放送への取り組みです。メ〜テレでは「次世代放送の先進局」を目指し他局に先駆けて研究に取り組んでおり、社内に分科会を設置して検討を進めています。

地上波放送では4K放送の開始時期も定まっていませんが、東京オリンピックを目途に、メディア環境は大きく変わるものと考えています。東京でも大阪でもない、この東海3県を地盤とし、地域密着を掲げるローカル局が、2020年以降も、引き続きエリアの視聴者の皆さんの期待に答えるテレビ局であるためには、この環境変化に備えなければいけないというのが、私の考えです。

昨年8月には、サッカーJ2・FC岐阜の試合を、放送局としては初めて、自社の中継車を使って4K映像で中継する実験を行いました。また10月には、グループ会社である名古屋テレビネキラストの2つ目のチャンネル「ダンスチャンネル」の開局にあわせ、自社の

4Kカメラで「ALL 4 DANCE」というダンス番組を制作しました。ダンスの4K映像は、まだ日本では珍しいものです。2015年度も、ダンスコンテンツをはじめとした4K制作に取り組んで行く予定です。

4K映像の編集についても、社内でノウハウ蓄積をしています。本格的な4K編集となると、現段階では名古屋に施設がないため、東京の外部スタジオで行うこととなりますが、撮影から編集まで一貫して制作できるようにしたいとの思いから、4Kの編集室を自社で持ちたいと考えています。

また、4Kとともに注目されている「ハイブリッドキャスト」については、主に東京キー一局が積極的に取り組んでいます。メ〜テレも、自社制作番組で展開を行っています。最新の取り組みとしては、今月20日に放送したドラマ「鉄子の育て方」の中で、スマートフォンやタブレットと連携し、クイズや特典映像を楽しめるハイブリッドキャストを実施しました。今後も、こうした新たな技術を活用し、テレビの新たな魅力を視聴者に届けるべく、トライアルを続けていきます。

さて、メ〜テレのこの春からの新しい取り組みについて、何点か申し上げておきます。

まず新しい自社制作番組です。深夜に新しいバラエティ番組「1個だけイエロー」をスタートさせます。ドラマのジャンルでは、地元愛知県警を舞台としたメ〜テレドラマ「ミステリなふたり」が始まります。また新しい試みとして、制作部門ではない入社3年目の女性社員が提案した企画をドラマ化し、5月に放送いたします。監督も脚本も女性にお願いし、新しい感覚のドラマを目指して鋭意製作中です。

先ほどお話しした、メ〜テレのグループ会社「名古屋テレビネクスト」による「ダンスチャンネル」が開局から半年を迎えるにあたり、ターゲットである若い世代の皆さんが、スマートフォンやタブレットで好きな時間、好きな場所で番組を楽しんでいただけるよう、インターネットの「同時再送信」を開始いたします。

ダンスというジャンルは、世代を超えた一大ムーブメントに成長しており、メ〜テレ本体も連携して盛り上げてまいります。そこで、「ドデスカ!」の中継コーナーでおなじみの「ウルフィダンス」を、さらに広めていくためのアンバサダーを新たに任命しました。

この「ダンスチャンネル」の同時再送信、ウルフィダンス・アンバサダー決定、そして5月に開催する「KAZOKU FES. 2015」の詳細につきましては、本日付けでプレスリリースを発行いたします。

今後とも引き続きメ〜テレへのご支援をよろしくお願いいたします。

問合せ メ〜テレ（名古屋テレビ放送株式会社）
広報部 那須・浅沼 052-322-7108